

▶ 論述型 (課題②:小論文)

私が映像学科を目指そうと思うきっかけとなった作品は「バコと魔法の絵本」という映画です。この作品は、事故で一日しか記憶がなくなった女の子のために、病院の大人たちが一生懸命に思い出を作ろうとする物語です。

私が魅力的だと感じたところは、登場人物一人一人が全員個性的でコメディのような面白さがたくさんあって笑えるのに、ところどころに思わず泣いてしまうような感動する場面もあることです。特に私が好きな場面は山内圭哉さんが演じるヤクザの親分の龍門寺さんが入院している理由がケンカなどではなくサルに撃たれたという笑えるシーンのはずが演出のすばらしさにより感動するシーンに変わってしまいう場面と、阿部サダヲさんが演じる堀米さんがずっと謎のおもしろいおじさんだったのが実は「ガマ王子対ザリガニ魔人」の作者とカミングアウトする場面です。

しかし、この作品の中の一番注目するべき場面は、CGの場面だと思っています。「ガマ王子対ザリガニ魔人」の演劇のシーンで、ガマ王子や池の仲間たちがCGで出てくるシーンは、バコや子どもが感じている世界を再現しているようで、人間とアニメ映像がCGの合成で作られているような作品を初めて見たので感動しました。私が特に好きなCGの場面はバコがガマ王子と手を繋いで走り出す場面と、池の中に沈んでいくバコのほつをガマ王子が触る場面です。最後のぼろぼろの絵本からガマ王子がとび出して全部が池になる場面では、この映画をみてよかったですと喜んでハッピーな気持ちになりました。

またこの作品は、色彩がとても豊かで、劇中の小道具として使用されているとびだす絵本そのもののような色彩と世界観が美しいと感じました。劇中の小道具は、一つに個性と手作り感があふれていて、病院が舞台なのに全然病院の息苦しさがなく、遊び心がたくさんあり、絵本を再現しているように思えました。

最後に木村カエラさんが歌う主題歌は、役所広司さんが演じる大貫とバコの物語を歌ったような曲で、2度聴くとすこく耳に残るメロディで映画にぴったりです。

私はこの作品を何回みても、同じ場面が涙が出ます。公開から八年経った今でもこの作品がみたくります。私にとつて心に残る作品が「バコと魔法の絵本」だったように、誰かの心に残る作品を私も作りたいと思います。

参考例題

▶ 企画提案型 (課題③:身体表現力(朗読))

青猫

萩原 朔太郎

この美しい都会を愛するのはよいことだ
この美しい都会の建築を愛するのはよいことだ
すべてのやさしい女性をもとめるために
すべての高貴な生活をもとめるために
この都にきて賑やかな街路を通るのはよいことだ
街路にそって立つ桜の並木
そこにも無数の雀がさえずっているではないか。
ああ このおどろきな都会の夜にねむれるものは
ただ、一疋の青い猫のかけだ
かなしい人類の歴史を語る猫のかけだ
われを求めてやまざる幸福の青い影だ。
いかならん影をとめて
みぞれふる日にもわれは東京を恋しと思ひしに
その裏町の壁にさむくたれてる
このひとのごときを食はなにの夢を夢みて居るのか。

小景異情

室生 犀星

その一
白魚はさびしや
このくろき離れはなんといふ
なんといふしほらしきよ
そこにひる胸をしたたむる
わがよそよそしきと
かなしきと
ききともなやな雀しは啼けり
その二
ふるさとには遠きにあり思ふもの
そして悲しくうたふもの
よしや
うらぶれて異土の衣食とならなくても
帰るところにあるまじや
ひとり都のゆふぐれに
ふるさとのおもひ涙ぐむ
そのころちよ
遠きみやこにかへらばや
遠きみやこにかへらばや
その三
銀の時計をうしなへる
ころかなしや
ちよろちよ川の上
橋にもたれて泣いてをり
その四
わが室のなかより
緑もえいで
たにごとしなけれど
磯海の涙せきあぐる
しづかに土籠りいでて
ざんげの涙せきあぐる
その五
なににこがれて書かうたぞ
一時にひろくうすもも
すももの香を身にあびて
田舎路のやすらさき
けふも母やに叱られて
すもものしたに身をよせぬ
その六
あんずよ
花着け
地ぞ早やに離れけ
あんずよ花着け
あんずよ燃えよ
ああんずよ花着け

課題

映像学科

●対象入試区分

AO入試 I期・II期 / 社会人入試・帰国生入試

●課題タイプ

論述型(課題①:ストーリー創作・課題②:小論文)、企画提案型(課題③:身体表現力(朗読))

●出題意図

課題①(ストーリー創作):ストーリーの構成力、展開力、文章表現力をはかるとともに、映像表現としてふさわしい構造になっているかを評価します。

課題②(小論文):映像は視覚的な情報なので、それを文章としての確に表現し、筆者の論点などが論理的に説明できているかを評価します。

課題③(身体表現力(朗読)):詩の一部を読み、描かれた人物、情景、心情などの内容を具体的にイメージしながら、その文章の内容にふさわしい表現の工夫を凝らした朗読ができているかを評価します。

●評価のポイント

課題①(ストーリー創作):例えば皆さんがよく知っている「桃太郎」を例にあげると、「昔、二人暮らしの老夫婦がいる。ある日、おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯にいくと、おばあさんは川で桃を拾ってくる。家に持ち帰ったら桃からは男の子が出てきて、二人は桃太郎と名付けて大切に育てる。やがて桃太郎は立派に成長して、鬼ヶ島へ鬼退治に行く。その道中、出会った犬、猿、キジに持っていたきび団子をあげると家来になって一緒に鬼退治に行き、見事勝利し、鬼が悪行を重ねて集めた宝物を台車で引き村へと持ち帰る」のように、導入部で「誰が主人公で何をしようとしているのか」、展開部で「どんなことがあったのか」、結論部で「最終的にはどうなるのか」がきちんと書かれていることが大切です。

課題②(小論文):取り上げた映像作品についてよく調べ、周辺情報についての知識を持っていることがベターです。

課題③(身体表現力(朗読)):発声法(エロキューション)の技能ではなく、文章に描かれた人物、情景、心情などの内容を理解して、朗読してもらいます。文章の読解力と朗読をとおして、演技者としての身体表現力を問います。

課題内容

AO入試 I期・II期 / 社会人入試・帰国生入試

●課題タイプ

論述型(課題①:ストーリー創作・課題②:小論文)、企画提案型(課題③:身体表現力(朗読))

以下の課題①②③の中から、いずれか1つを選択してください。

課題①(ストーリー創作):提示されたお題にしたがってストーリーを考え、市販の400字詰原稿用紙(2~3枚)に縦書きであらすじを書いてください。色鉛筆など使用せず、文章のみで作成してください。

課題②(小論文):あなたが映像学科を目指そうと思う切っ掛けとなった映像作品か演劇を1本選び、どうしてその作品が心に残ったのか、あなたがその作品について独自に考えたこと、あなたなりの解釈が明確にわかるように市販の400字詰原稿用紙(2~3枚)に縦書きで解説してください。

課題③(身体表現力(朗読)):右ページに掲げる詩を間・抑揚などを内容から考え、面接時に朗読してもらいます。萩原朔太郎著『青猫』から「青猫」、室生犀星著『抒情小曲集』から「小景異情」

※面接時には、暗唱ではなく、手渡された本文を朗読してもらいます。